

5年 When is your birthday? 東京書籍

本時のねらい

誕生日や欲しいものについて聞いたり答えたりできる。

●学習活動（学習形態、学習活動内容）

学習活動 (学習形態・学習活動内容)	デジタル教科書+教材活用部分	留意点
<p>1. 前時の復習 (1) Starting Out の動画 B を見て Q&A</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Q : When is Sakura's birthday? - A : In (). ● Q : When is Hiroshi's birthday? - A : In (). <p>(2) 動画 B を見ながら「なりきり発音」練習</p>	<p>(2)の口慣らし練習は、全体でモニターを見ながらでもいいが、個人で練習させてもいい。</p> 	<p>(1) この時点では April, July のみで OK。この質問は教員の後に続けて全体でも発音練習する。</p> <p>(2) イヤホンなしで全員が自分の教科書で音を出して騒がしくなるのも一つの手。周りがるさいと声も出しやすい。</p>
<p>2. When is your birthday? の発音練習 : Let's Chant 利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ When is ... のパターンをリズムとともに定着させるのがねらい。 ・ チャンツに合わせて声を出させる。 ・ 難しそうなところは、教員がゆっくりモデルを示して段階的に練習させる。 ・ 1st, 19th, 23rd は、ここでは発音以外は深入りしない。→3で練習。 	<p>全体で</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ When is は When's の発音になっている。英語のリズムに慣れていない子（かつ文字に少し慣れていない子）は文字表記につられてリズムに乗るのに苦労するかもしれない。「is が弱く短くなる」ことも軽く伝えて、チャンツのリズムで発音できるよう手助けしたい。 ・ 各自の練習時間を与えてもいい。 ・ 家での発音練習を宿題にしてもよい。

(東京書籍 5年 p.18-19 デジタルコンテンツ)

学習活動 (学習形態・学習活動内容)	デジタル教科書+教材活用部分	留意点
<p>3. Months・Dates の導入・練習 : Picture Dictionary (pp.14-15) 利用</p> <p>(1) Months</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ My birthday is in ____ のパターンで少なくとも自分の誕生日は言えるようにする。 ・ グループでのカルタとりなどを通して、聞いたり見たりした時に、月の名前が分かるようにする（紙版カルタが必要）。 <p>(2) Dates</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日付の時は、数字に「何かつく」ことは理解させる。 ・ 日付ピンゴ：音と数字（序数）をバツと結びつけるための練習（紙版ピンゴ用紙が必要）。 	<p>(1) (2) とも、まずチャンツ部分で発音練習をしっかり行う。</p> <p>(1) Months</p>  <p>(2) Dates</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツ部分を利用した発音練習は、まずはモニターに映しながら一斉に行う。時間があれば各自の練習時間を与えてもよい。 ・ Months, Dates は数字でも表現できるので、英単語を書く練習を含めなくてもよい。自分の誕生日は言えるようにしたいが、それ以外は、聞いて分かる・見て分かることが本時の目標である（もっとできてよい）。 ・ 1st, 2nd, 3rd は野球との連想でも定着させやすい。 ・ 5th 以降は全部 th だと気づかせる（安心させる）。 ・ 21st, 22nd, 23rd, 31st は注意。
<p>4. Let's Try 2 友達と誕生日をたずね合う。</p> <p>(1) まず誕生日だけを答えさせてもいい (In ____ のパターンをモニターや黒板などで見せておく)。</p> <p>(2) Your Turn を利用して発音練習。</p> <p>(3) 誕生日チェーンを作る（誕生日を聞き合って誕生日が早い順に並ぶ）：クラスをチームに分けて速さを競ってもよい。</p>		<p>(3) のあとに時間があれば（あるいは (3) の代わりに）「最低5人の誕生日を聞き出す」活動をしてほしい。名前・誕生日を書き込むワークシートを渡し、質問して相手の答えを「数字で」書きとめさせる。書いた数字（例：5/10）を相手に見せて「Is it correct?(OK)?」と確認させてもよい。</p>

上・中 (同「Picture Dictionary」 p.14-15, デジタルコンテンツ)
下 (同 5年 p.20 デジタルコンテンツ)

事例1 〈第6学年〉Unit 1:【Starting Out▶聞く】とワークシートを用いた予習・復習



【Starting Out▶聞く】
(東京書籍6年 p.6 デジタルコンテンツ)

名前	国名	言語	好きな食べ物
1	カンボジア		
2	ロシア	Русский Russian	Pyrogues Japanese English
3			
4	トルコ	Turkey	
5			
6	オーストラリア	Australia	Comic books
7			

ワークシート



【Picture Dictionary: Countries】

(同「Picture Dictionary」p.16, 同デジタルコンテンツ)



事例2 〈第6学年〉Unit 1:【Starting Out▶見る】とワークシートを用いた予習・復習

*ワークシートの空所は生徒のレベルや、授業でポイントにしたい箇所を選ぶ。
*予習してきたワークシートを授業でチェックした後、同じワークシートを使って、ペアでのスピードアップのための口慣らし練習などもできる。この場合、ワークシートに自己評価欄をつけておいてもよい。



【Starting Out▶見る】 (同6年 p.6 デジタルコンテンツ)

Starting Out	Date	Name
1. 音声聞いて、左側の()内で聞こえた方を選びよう。 2. 右側の()内にどんな日本語を入れたらいいか考えよう。		
Hello, (I'm, I) Emily. I (like, live in) Japan with my family, too. But I'm (for, from) Singapore. I like (cats, dogs). I can speak (Japanese, English) and Chinese. I study Japanese (hard, hot). But Japanese is (easy, difficult) for me. My birthday is May (5, 5th). My (mother, father) is a baker. I (like, want) to be a baker, too.		こんにちは、エミリーです。 私も、家族と日本に () 。
		でも、出身はシンガポールです。 私は () が好きです。 私は () と中国語を話せます。 私は日本語を () 勉強しています。 でも日本語は、私には () です。 私の誕生日は () です。 私の () はパン屋です。 私もパン屋 () です。

ワークシート

事例3 〈第6学年〉Unit 4:【Let's Try 2:Your Turn】・【Picture Dictionary:食べ物】を用いた発音練習(予習・授業内)+カード(ワークシート)を用いたペアワーク

【ペアワーク】Picture Dictionaryで予習(授業で練習)した食べ物の絵(または日本語)を書いたカードを裏向きに重ねる。Aが「What did you eat?」と聞きながらめくり、Bが「I ate...」と答える。交互に質問しながらできるだけ素早く全カードを終わらせる。カード枚数に応じて制限時間を設定してもいい。
*食べ物の英語がまだパツと出てこない段階:AがPicture Dictionaryを見ながら、Bが答えられない時に教える役。ABを交代してカード全て言えるように練習。



【Let's Try 2: Your Turn】
(同6年 p.36 デジタルコンテンツ)



【Picture Dictionary: Food】
(同「Picture Dictionary」p.8)



カード例(絵の場合)

事例4 〈第6学年〉Unit 4:【Over the Horizon▶見る】+ワークシートを用いた内容理解

- 大意理解:動画を適宜止めながら、キーワードを拾わせる。動画の場面のスクリーンショットを入れたワークシートを利用。
- 聞こえた順に並び替え:読めてほしい文をターゲットに、切り離させた紙片をシャッフルさせてスタート。ペアワークでもよい。
- レベルによっては、シャドーイング練習も加えられる。



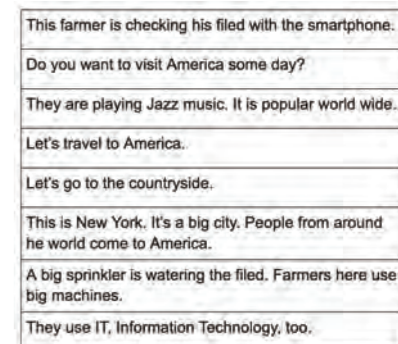
【Over the Horizon】 (同6年 p.41)



【Over the Horizon▶見る】
(同6年 p.41 デジタルコンテンツ)



[1] 大意理解用ワークシート



[2] 並び替え用:各自切り離して使う

6年 Let's think about our food. 東京書籍

本時のねらい

1. 食材の産地を表現する言い方 (X is from Y) を学ぶ。食品・産地の語彙を使えるようになる (デジタル教科書の映像・音声および Picture Dictionary の画像・音声を利用)
2. 普段口にしていない食品がどこで生産されているのかを考える。

学習活動 (学習形態, 学習活動内容)

学習活動 (学習形態・学習活動内容)	デジタル教科書 + 教材活用部分	留意点
<p>1a. Starting Out ▶ 見る: 1b の Warm-Up (Emily の話を映像で) (教科書 pp.50-51)</p> <p>1b. Starting Out ▶ 聞く: (1)-(4) を聞き、「食べた物」と「食材」の産地をノート (またはワークシート) にまとめる。</p> <p>(1) Soybeans : America (2) Beef : Australia Pork : Kagoshima (3) Chicken : Brazil (4) Salmon : Norway Carrots : Hokkaido Onions : Awajishima Egg plants : Kochi</p> 	<p>1a. 状況や何が話題なのかを映像でわかりやすく。</p>  <p>1b. (1)~(4)</p> 	<p>1 Starting Out (5) の Food Group の話は別の回に。</p> <p>1a. 映像を見ながら、適宜、理解を確認 (What did Emily eat? エミリーは何を食べたって?)</p> <p>1a. 食品表示のところで、The soybeans are from America. (ターゲット文) を口頭練習しておく。</p> <p>1b. 各自またはペアで取り組む。</p> <p>1b. Where are the soybeans from? のパターンの練習はこの後。ここでは、疑問文をなじませればいいので、「大豆はどこから?」と日本語とサンドイッチにしてもいい。</p>

解答チェック時に、教員が Where are the soybeans from? と質問し、疑問文に触れさせる。解答は単語で OK。

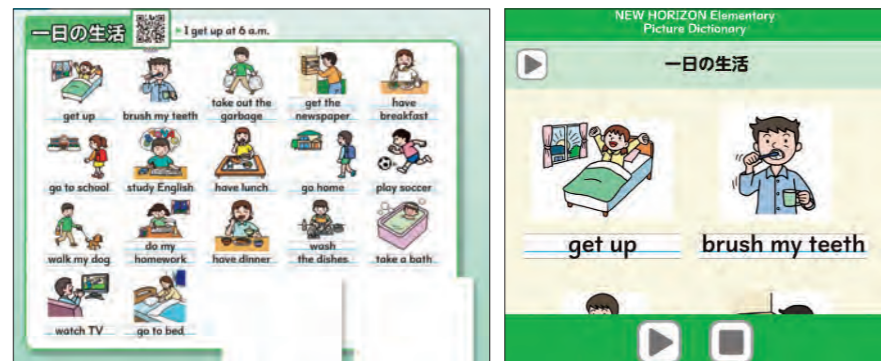
(東京書籍 6年 p.50-51, 同デジタルコンテンツ)

学習活動 (学習形態・学習活動内容)	デジタル教科書 + 教材活用部分	留意点
<p>2. 産地の表現 (質問と答え): ターゲット文</p> <p>2a. Let's Try 2 (p.52) の Your Turn で発音練習 + 1b の情報を使って、パターンプラクティス</p> <p>2b. Let's Try 2: pp.56-57 「Horizon Mart のチラシ」を使った Point and Say Game</p>	<p>2a. Your Turn で発音練習</p> 	<p>2a. Where is と Where are に注意を向けて練習したい。→ 2b の準備</p> <p>Where is the beef from? Where is the pork from? Where are the soybeans from? Where are the carrots from?</p> <p>* 2b 後、レベルに応じて、冷蔵庫の食材の食品表示 (原産地の部分) 写真を持ってこさせ、それを使ったペアワークを行ってもいい。</p>
<p>3a. Did you know? 食料自給率を調べる (p.58): グループワーク</p> <p>↓</p> <p>解答チェック後、どのくらい入力しているかを英語で表現</p> <p>* 数字の練習も必要に応じて。</p> <p>3b. 3aの食材について、産地(国内・国外)を調べる。</p> <p>複数の産地が挙がる (ターゲット文の利用の幅が広がる)。 例) Wheat is from America, Canada, and Australia.</p>	<p>3a. Over the Horizon</p>  <p>3a. Picture Dictionary : 数字</p> 	<p>3a. オンラインで調べさせる。あるいは、社会の教科書や資料集でもいい。 例: 農林水産省の HP</p> <p>3b. オンライン・または社会の教科書や資料集を使ってグループごとに分担して調べさせる。 例) 野菜ナビの HP</p>

上 (同 6年 p.52 デジタルコンテンツ)
中 (同 6年 p.58)
下 (同 6年 「Picture Dictionary」 p.4 デジタルコンテンツ)

事例1 【Picture Dictionary: 一日の生活】週間帯活動: 各自宅で「一日の生活」の語句の発音練習を行う。

「帯活動」時間にペアで A: What time do you get up? → B: I get up at 7:00. How about you? → A: I get up at 6:30. のような Q&A を, AB を交代しながら行う。時間制限でどこまでできたかを記録。*過去形が出てきたタイミングで, What time did you get up? に変えて行ってもいい。



【Picture Dictionary: 一日の生活】
(東京書籍「Picture Dictionary」p.20, デジタルコンテンツ)

事例2 〈第5学年〉Unit 5: 【Starting Out ▶ 見る ▶ 聞く】

- (1) Where is X? It's by A. Go ... Turn ... You'll see it on your left/right. のパターンを練習
- (2) 建物などの言い方を練習 (Picture Dictionary を利用)。
- (3) 最寄駅 (または学校など) を起点とした略地図ワークシートを用意し, グループで「XXX 駅付近案内図」(学校付近案内図)を作成。3~5箇所をピックアップして, 行き方を文で書かせる。



【Starting Out ▶ 聞く】 (同5年 p.46 デジタルコンテンツ) 【Picture Dictionary: 建物など】 (同「Picture Dictionary」p.22 デジタルコンテンツ)

Around XXX Station Group _____ Members _____

① City Hall _____

② XXX Hotel _____

③ Post Office _____

ワークシート: XXX 駅周辺案内

事例3 〈第6学年〉Unit 7: 【ことば探検】英語の文のリズム「強い」=「長い」に気づかせたい。

1. 【ことば探検】の例文のモデル発音を聞き, 真似る。
2. 【Starting Out ▶ 聞く】(6年生, Unit 7): ユニット導入時に利用した【Starting Out】の例文に戻ってリズムに注目。例文を書き出したワークシートに【ことば探検】の要領で, 黒丸をつけていく。→チェック後, 各自/全体で, リズムに注意してオーバーラッピング (あるいは止めながらリピート) 練習を行う。



教科書【ことば探検】 (同6年 p.70)



【Starting Out ▶ 聞く】 (同6年 p.64 デジタルコンテンツ)

事例4 【Over the Horizon ▶ 見る】+ワークシート: グループワーク: いくつかの国の情報を整理。例) U5, U6, U7をピックアップ



【Over the Horizon ▶ 見る】 (同6年 デジタルコンテンツ)

音声を聞いて, 情報を国ごとに整理しよう。

--	--	--

Brazil / Switzerland / Ghana
Cheese is famous. / The Amazon river is famous. / You can get a lot of cacao beans.
It's a very hot country. / Soccer is popular. / People use four languages.

ワークシート